

北薩教育事務所だより

# 北薩の輝き

令和7年度 第3号 令和7年12月8日発行  
北薩地域振興局第2庁舎（川薩保健所内）  
所在地：薩摩川内市隈之城町 228-1  
電話：0996-20-8771（総務課）  
FAX：0996-25-3095

## 良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

### ～「やりがい」を実感すること～

管理課長 元田 文裕

今年もたくさんの学校を訪問させていただきました。子供たちの「生きる力」を育むために、「本気の心」で先生方と共に挑み続ける北薩教育事務所を、これからもよろしくお願いします。

9月に訪問した小学校での出来事です。4月に訪問した時は、やんちゃな子供たちへの対応に苦心し奮闘されていた校長先生、教頭先生が、その日は満面の笑顔で、自信満々に迎えてくださいました。その理由はすぐに分かりました。教室に入ると、そこには子供たちの熱気に満ちた真剣な姿があったのです。まさに驚きの変容です。中でも、高学年の算数の授業では、子供たちが各々のスタイルで課題に夢中になって取り組んでいました。先生の話聞いてノートに書き写すといった、従来の「教え込み型」の授業ではありません。子供たちが自ら考え、互いに話し合っ

て答えを導き出していたのです。  
授業参観のあと、校長先生、教頭先生から、それまで試行錯誤と葛藤の日々があって、今に至ったことをお聞きしました。今、子供たちは、自ら学びとる「手ごたえ」を実感しています。与えられた知識では満足できなくなって、自分たちで学び合い、課題に貪欲に挑んで得た「手ごたえ」です。そしてその「手ごたえ」を得る過程で、自分の心の扱い方も学んだようです。

学び方も教え方も時代によって変わります。「学習者主体の学び」は、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な力であり、学びの主役は子供たち自身です。それでも、子供たちにとって先生が、かけがえのない存在であることは変わりません。先生という仕事は、そもそも「やりがい」のある仕事です。毎日の忙しさで気付きにくいかもしれませんが、些細なことにも「やりがい」を実感することは、とても大切なことです。それは、子供たちが日々の授業で得る「手ごたえ」と同じなのです。

## 令和7年度全国学力・学習状況調査結果

### 【学力調査】

※平均正答率(%)及びIRT

	小学校6年			中学校3年		
	地区	県	全国	地区	県	全国
国語	65	67	66.8	53	53	54.3
算数・数学	56	57	58.0	43	45	48.3
理科	58	60	57.1	478	493	503

- ・小学校6年の国語・算数は全国平均正答率を下回り、理科は全国平均正答率を上回っている。
- ・中学校3年の国語・数学・理科は、全国平均正答率・IRTスコアを下回っている。

### 【学習状況調査（児童生徒質問調査）】

※「当てはまる」と回答した割合(%)

各教科の授業に関する質問	小学校6年			中学校3年		
	地区	県	全国	地区	県	全国
国語の授業の内容はよく分かる	82.2	82.2	82.8	68.7	75.1	77.0
算数・数学の授業の内容はよく分かる	79.2	78.5	78.3	62.2	69.4	70.3
理科の授業の内容はよく分かる	86.5	88.2	88.9	70.7	69.7	71.4

小学校6年の算数以外は全国を下回っている。特に、中学校3年の国語・数学は全国を大きく下回り、その差が令和6年度より拡大している。

各学校においては、自校の分析結果を踏まえ、「学びの羅針盤」や「令和7年度全国学力・学習状況調査報告書」に掲載されている「授業アイデア例」を活用しながら、「学習者主体の授業」について教職員間で具体的なイメージを共有した上で授業改善を進めていきましょう。

## 北薩地区学力向上アクション

北薩地区の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、その解説資料や報告書等を基に、各学校の授業改善に資するための参考資料「北薩地区学力向上アクション」を作成しました。その目的と内容（概要）は、次のとおりです。完全版はホームページに掲載しています。

### ア 目的

- 児童生徒が、目的達成や問題解決に必要な資質・能力を身に付ける。
- 児童生徒が、自らの成長を実感し、自信を付け、学力調査で結果を出す。

### イ 内容（概要）

- 【アクション1】全職員が全国学力・学習状況調査の問題を解き、同調査解説資料から学ぶ
- 【アクション2】児童生徒と目指す姿を共有する
- 【アクション3】問題の解き方を身に付けさせる
- 【アクション4】資質・能力を繰り返しの学習で定着させる
- 【アクション5】自らの言葉で表現させる
- 【アクション6】「できない」と決めつけず、「できるためには何が必要か」を考える



【QRコード】

## 合同計画訪問を終えて

令和7年度に計画していた全22校の合同計画訪問が終了しました。事前の準備から当日の温かい迎え入れなど、多大な御協力をいただき感謝いたします。学力の向上や学校の活性化など、職員一体となって取り組む姿勢や、子供の意欲を高めたり、安心感を与えたりする学習環境など、素晴らしい実践を多く参観させていただきました。

また、意見交換では、具体的な課題を基に様々な視点から検討し合い、改善策や方向性を共有するなど、ともに学ばせていただきました。今後の地区内各校の支援に生かしていきます。



## 冬休み中の安全指導

9月から11月の児童生徒への声掛けやつきまとい等の事案は、前年度に比べて減少していますが、冬期は日没時刻も早く、今後も安全指導の徹底が必要です。

- 声掛け・つきまとい事案等には「いかのおすし」を励行する。
  - 外出時はできる限り複数人で行動し、防犯ブザー等を携行する。
  - 人がいない場所や見通しの悪い場所には近づかない。また、暗くならないうちに早めに帰宅する。
  - 「子ども110番の家」の場所を事前に把握し、危険を察知した場合は積極的に活用する。
  - 外出するときは、家の人に「いつ頃まで、どこで、誰と、何をするか」などを知らせる。
  - 事案を認知した際は、速やかに警察に通報する。
- ＝ 冬休み中も安全に過ごしましょう ＝

## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間

今年度は、ポスター原画の部に68校、標語の部に、74校からの応募がありました。特選以上を受賞した作品と学校賞に輝いた学校を紹介します。

### 【ポスター原画の部】

#### <学校賞>

出水市立大川内小学校

#### <特選>

薩摩川内市立隈之城小学校 2年 富田 苺花 さん  
出水市立大川内小学校 5年 松山 璃音 さん  
出水市立出水中学校 3年 奥村 美紅 さん

### 【標語の部】

#### <優秀賞>

阿久根市立山下小学校 3年 松崎 ほのか さん  
「さあいこう わたしの学校  
わくわくいっぱい 学びがいっぱい」

## 「リスクへの自覚を促す教員研修教材」シリーズを活用しましょう

県教育委員会は、不祥事根絶対策として「リスクへの自覚を促す教員研修教材」を開発し、現在、シリーズ0～3弾まで提供しています。教員による不祥事が全国で発生する昨今、学校現場を支える先生方にとってのリスクを身近なものとして考えるきっかけになる、貴重な研修教材となっています。

不祥事リスクは、すべての先生方にとって「自分事」です。本教材を何度でも活用していただき、自分自身を振り返る機会を必ず設けてください。